



- 4つのだいじ
1. あいさつはだいじ
 2. ともだちはだいじ
 3. そうじはだいじ
 4. チャレンジはだいじ

だいじ

平成31年度(令和元年度) 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成31年4月18日(木)に、6年生を対象として、「教科(国語、算数)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

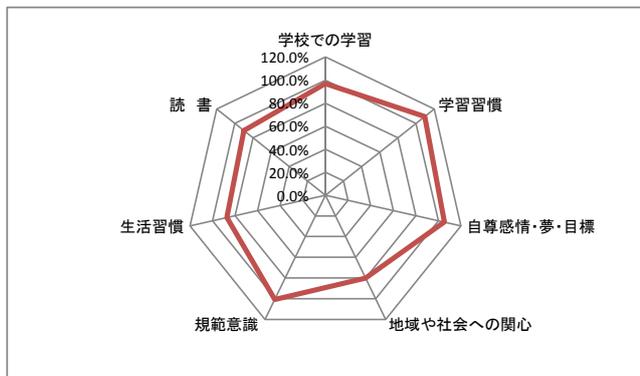
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)	全国平均正答率との比較
国語	5年生のときに行った北九州市学力調査の結果から大きく改善しており、領域や問題形式に関わらず、全般に良好な正答率であった。漢字については、できている・できていないが分かれている。	上回っている
算数	5年生のときに行った北九州市学力調査の結果から改善しているものの、領域や問題形式に関わらず、全般にやや低い正答率であった。図形の性質や構成要素に着目して図形を構成する問題や、数量関係から目的に適したものを見付ける問題に課題が見られる。	下回っている

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



○「将来の夢や目標を持っている」「最後までやり遂げて嬉しかったことがある」と回答した児童の割合が全国平均を大きく上回っている。

○「算数の勉強が好き」「算数の学習はよく分かる」と回答した児童の割合が全国平均を大きく上回っている。

▼「朝食をあまり・まったく食べていない」「学校以外の読書時間が0」と回答した児童の割合が全国平均を大きく上回っている。

▼「学校のきまりを守っている」「地域行事に参加している」と回答した児童の割合が全国平均を下回っている。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組(全校で)

- ・朝のチャレンジタイムで、基本的な図表の見方・使い方の習熟を図る。
- ・自分で考え、話し合いで広げ深める授業づくりを目指し、全学級で授業研究に取り組む。
- ・放課後のがんばりタイムで、苦手や遅れを挽回する復習・習熟問題に取り組む。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- ・家庭学習や生活習慣の大切さについて、学校だより・保健だよりなどを通じてお知らせする。
- ・自学ノートの見本や、テーマの例を学年ごとに掲示・配布し、称賛と励ましを行う。
- ・保健学習や学級活動で自分の生活習慣を振り返り、自分なりのめあてを決めて実践する。